

深青の湖面と外輪山の彩りが美しい、陸奥屈指の景勝地として愛さ れている十和田湖は、約20万年前から大小問わず噴火を繰り返し、国 内最大級のカルデラ湖として誕生しました。特に915年に発生した大噴 火は、有史以降に日本国内で起きた最大規模の噴火であったと云われ ており、米代川流域を中心に各地で大災害が発生したとされています。 この未曾有の大災害に遭遇した先人たちは、自然の猛威を強大な力 をもつ龍の姿に置き換え、龍神伝説『八郎太郎物語』として語り継いで

八郎太郎物語以外にも、火山の影響を強く受けて形成された土地で ある鹿角市には、興味深い伝承や歴史が溢れています。

きたのだと考えられています。

今回は龍神・八郎太郎と一緒に鹿角市の歴史文化に触れる旅に出





黒又山(クロマンタ)

環状列石の近くにはアイヌ語から派生して黒又 山と呼ばれている山があって、もとは「神々が集 まる場所」という意味なんだワン。近くにある集宮 神社も八郎太郎が逃げてきたとき、鹿角の神々 が集まった場所と云われていて、この周辺はパ ワースポットとして人を惹きつけているんだワン。



黒森山は大湯温泉郷を代表するお山で、 山麓からは縄文遺跡も見つかっているワン。 かつては立派なスキー場もあり、昔から大 湯の人たちに愛されてきたんだワン。今は パークゴルフ場や大湯の自然を体感できる 森林セラピーロードが整備されているワン。

抜けたが間に合わなかったんだワン。処刑された主 人を想ってシロが遠吠えを続けた場所は大吠森の 名がつけられ、人々の畏敬を受けたシロは「老犬さ ま」として故郷の鹿角にほど近い大館市の老犬神 社に祭られているワン。





# 毛馬内のみどころたくさん!/



# 先人顕彰館

毛馬内出身の日本を代表する東洋史 学者「内藤湖南」や、ヒメマス養殖に成 功し十和田湖開発に生涯を持げた「和 井内貞庁」など、地元出身の先人たちの 偉業や鹿角の歴史を紹介しています。



# JR十和田南駅

現在では珍しいスイッチバック構造の駅で、かつて小坂町を経由して青森県三戸市へ尾去沢鉱山の鉱石を運ぶ鉱山 鉄道の路線計画があった名残りです。ちなみに十和田湖への最寄駅なんですよ。



# 錦木塚

錦木塚物語の舞台であり、 歌枕の地として知られていま す。歌人の石川啄木もこの地を 訪れて「鹿角の國を憶う歌」をつくったほか、 長詩「錦木」を雑誌明星に発表しています。



# 坂上田村麻呂は蝦夷討伐で岩手山周辺に進軍 し、八幡大神を勧請して武運長久を祈ったとされ ています。討伐を成し遂げた田村麻呂が再訪した 際、景色のあまりの美しさに感動し、その地を八幡 平と命名したという伝説があります。この場所が与

える感動をぜひ体感してみてくださいね。

オナメモトメとは「妾・妻」の方言です。行方知れずの夫を捜 して湯治場を訪れた妻は、若い娘と仲睦まじ、暮らす夫を見 つけ、身を引く覚悟をして湯壺に身投げしました。妻から夫を 奪った罪悪感から娘も身を投げ、男は己の罪深さを悔い、一 生を掛けて二人の後生の為に祈り続けたそうです。その湯壺 は大晴泉となり今もなお敬葉路の間近で漢き続けています。

後生掛オナメ・モトメ

### **湯親渓谷** 山津軽街道

旧津軽街道の難所と呼ばれた渓谷地形を生かした森林セラピーロードが整備されています。また、渓谷を流れる米代川の瀬から豊富な温泉がわき出たことに由来する湯瀬温泉郷は、東北を代表する美人の湯の一つとして知られ、自然美と温泉を一度に楽しめるリラクゼーションスポットになっていますわ。



# 在輪の産土神、幸稲荷神社の 境内の北側に駒形堂があり、「お駒 さん」という白い神馬が祀られていま す。産土神は大変な事や、大事なこ とがある度に、お駒さんに町の通りを 馳せさせ、「気をつけろ」と伝えてくれ ました。町人は「有り難い」と産土 神を益々信仰しました。

花輪の総鎮守で『産土神(うぶすな)さん』として親しまれている幸稲荷神社と、里の神である花輪神明社との合同祭礼に奉納される祭礼ばやしです。夜通し街中を練り歩く絢爛豪華な10町内の屋台と、若者たちが熱を込めて奏でるお囃子は圧巻の迫力で、日本三大ばやしの一つにも数えられています。また、「道

の足がく、ロボニ人はやじめ一つにも数とられています。また、1度 の駅かづの」では通年で本物の屋台が展示されており、動画による花輪ばやしの由来や解説を交えなが ボムばらしの由来や解説を交えなが

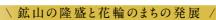
花輪ばやし祭典委員会 ☎0186-30-0500



# **☎**0186-30-0500 秋田県無形民俗文化財

# 花輪の町踊り

8月下旬から中秋の名月頃まで、花輪の町通りで篝火を囲んで踊りが繰り広げられます。三味線、太鼓の囃子と唄につれた軽快なテンポと緩急に富む優雅な踊りで、伝承曲は12曲です。



花輪のまちは尾去沢鉱山と共に繁栄してきた鉱山の町であり、全国から鉱夫たちが大いに 集まり、その賑わいに伴って商人や芸人などが入り込んできたことで、各地の風習や文化、芸 能などが入り交じり、鹿角ならではの独特な文化が醸成され、花輪祭を筆頭に現代にも受け 継がれています。また、北国特有のこもせの街並みの面影を今も残しており、代表的な旧関 善酒店主屋は、奥蔵美術館としてかつての町の生活様式を今に伝えるほか、鹿角地域に伝 わる民話の披露会などの地域感溢れる催しも行われています。



# 国登録有形文化財

ら、間近で見学することができます。

## 旧関善酒店

安政3年(1856年)に創業した造り酒屋で当地域の政治・経済・文化の発展に寄与しました。明治期の伝統的商家の建物で、日本最大級の吹抜木造架構は見事です。

# 鹿角の色彩工芸!



# 茜染・紫根染

今でも里山の風景が色濃く残る鹿角市では、奈良時代から豊富に自生しているムラサキとアカネを使った草木染が鑑んでした。後に盛岡藩の手厚い保護を受けて鹿角を代表る産業として発展し、朝廷や幕府へも献上されました。現在も鹿角紫根染・茜染研究会を中心に、優美な憧れの色の復活のため染め色研究や技術交流を行っています。



# \尾去沢ビュースポット!/



# 水晶山スキー場

鹿角市街地の北半分を見渡せる、標高 548.7mの水晶山の中腹にスキー場とゴル フ練習場がある。冬は夜景を楽しめるナト ゲレンデでスキーを、夏は絶景に打ち下ろ すゴルフを楽しむことができる施設だぞ。



# からめ節金山踊り 5月14日・15日(尾去沢山神社まつり)

尾去沢鉱山に働いた坑夫や手選婦の仕事の 中から生まれた素朴な作業唄と踊りで、唄は活 気に満ちた鉱山の様子をうたい、踊りは女が槌 と笊で選鉱作業の様子を踊っておる。毎年5月 の山神社祭典で奉納踊りが行われておるぞ。

# 光る怪鳥伝説

大森山から、金色の炎を吹き、牛のような声の怪鳥が現れた。ある日、大量の血を流して死んでいた鳥の腹から金銀銅の鉱石が出たので、辺りを掘ると鉱脈が見つかり、尾去沢鉱山の発見になったそうじゃ。 大森山の麓に血が付いた獅子の頭のような大石が見つかったので、怪鳥はこの神石が倒したと社を建立し、大森山獅子大権現をお祀りしているそうじゃ。

# 秋田県無形民俗文化財

# 大森親山獅子大権現 尾去沢鉱山発見伝説に 因む「大森親山獅子大 権現御伝記」に由来し て、1481年頃から続いて いる神楽だそうじゃ。尾 よ 八幡神社例祭の5月5日 と9月15日に社殿と境内

で行われておるぞ。





# 鹿角さはまだまだいろんた見どころ満載だすよ





土深井裸まいり



# 昔名沢の観音さま

長者の跡取り息子と豪族の一人娘・昔名姫は 家同士の不仲で結婚が許されず、姫は病に伏せ ります。姫の父は長者の息子が姫を見舞いに館 に侵入しようとしたのを捕え、二人を死んだことにし て遠くへ旅立たせ、代わりに馬二頭を埋葬しまし た。後に故郷へ戻った姫は、身代りになった馬を 哀れみ、寺を建てて毎日供養したと伝わります。



行事名称 場所 開催日 内容 松館天満宮三台山獅子大権現舞(八幡平松館) 4月25日 毎年4月25日の松舘菅原神社例祭の際に奉納される (花輪下川原) 4月19日 下川原駒踊 毎年旧盆の頃、集落の氏神である稲荷神社に豊作を祈って奉納される 湯瀬神明社先祓舞 (湯瀬温泉郷) 7月15日、16日 岩手県八幡平市兄川から始まった先祓舞が隣接する兄畑を経由して大正14年に伝授された 川原大神楽 (十和田毛馬内) 7月12日、13日 南部家重臣の桜庭光英が毛馬内の館主のとき、月山神社に奉納演舞したもの 長嶺八幡神社先祓舞 (八幡平長嶺) 7月第3日曜日 明治5年に集落の鎮守が毘沙門堂から八幡神社に改められた際に賑わい創出のためにはじまった 芦名沢大太鼓 (十和田山根) 8月14日 奈良時代の金光明寺十一面観音堂(現葦名神社)の建立に始まる市内最古の大太鼓 谷内天照皇御神社先祓舞 (八幡平谷内) 8月15日、16日 江戸時代中期に岩手県八幡平市の兄川神社から伝わったとされ、兄川舞とも呼ばれる 土深井裸まいり (十和田十深井) 隔年2月中旬 厄除けや悪病退散を願って冷水で身を清め、稲荷神社に祈願したのが始まり 宮野平のオジナオバナ (十和田大湯) 春彼岸の中日 春彼岸の慰霊行事で、田圃に作った藁小屋を燃やし、その周りを子供たちが取り囲みながら独特な掛け声を唱えて祖霊を迎え送る 小豆沢のオジナオバナ (八幡平小豆沢) 春彼岸の最終日 春彼岸の慰霊行事で、五ノ宮嶽中腹から嶺づたいに陰暦月に見立てた12の篝火(閏年は13)を灯して月毎の天候や作物の豊凶を占う スポット名称 関連伝承·出来事 概要 戦国武将の大湯氏の居城で典型的な山城跡。主郭跡にはウッドチップを敷いた散策路 九戸政実の乱 大湯鹿倉城跡 があり、かつての敵方である秋田方面を見通すビュースポットになっている。 (大湯) 秋田県指定天然記念物 推定樹齢2千年とも云われる巨大な老杉。かつては参道を挟んで1対あり名実ともに 大円寺門杉 (大湯) 門杉として親しまれていたが洪水により片方が失われた。 大正モダン建築 1916年に大正天皇御大礼記念として建設された洋風建築物。300人収容のステージ 鹿角市歴史民俗資料館 (旧鹿角郡公会堂) 付きホールを有し、郡内文化の殿堂として各種催事の会場として利用された。 (花輪) 旧武家屋敷 旧武家屋敷を改装した歴史資料館 渡部家資料館 (八幡平) 5~10月※1週間前までに予約が必要 ☎0186-32-2133 坂上田村麻呂の蝦夷討伐 八幡平の名湯として名高い玉川・後生掛両温泉を結ぶ人気の登山ルート上にあり、蝦 鬼ケ城 夷討伐の戦場となったとの言い伝えがあります。 (国立公園八幡平 焼山)

鹿角市役所(観光担

杉村楚人冠

(八幡平 トロコ)

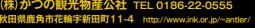
TEL 0186-30-0248 TEL 0186-30-029

訪れた際に落馬したことを記念した一風変わった経緯で建てられた石碑。

明治末期から昭和初期にかけて先進的なジャーナリストとして活躍した楚人冠が、八幡平を

http://www.city.kazuno.akita.ip/

(株)かづの観光物産公社 TEL 0186-22-0555





楚人冠落馬記念碑